



長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

長後まちだより21号

発行日/2022年3月25日

発行/長後地区

郷土づくり推進会議

責任者/市川 勤

事務局/長後市民センター

電話/0466-44-1622

FAX/0466-46-7034

【長後地区乗合タクシー】住民組織による本格運行に向けた検討がスタート

長後地区郷土づくり推進会議と市が連携して取り組んでいる実証運行中の「長後地区乗合タクシー」の本格運行に向けて、地域住民21名で構成する「長後地区乗合タクシー・運営主体組織の設立等準備委員会（以下、「準備委員会」）」が令和3年12月に設置されました。今後、準備委員会では本格運行を担う運営主体組織の設立や収入の確保策、運行ルートやダイヤなどについての検討が行われます。

本格運行の実現に向けて……

- 現在藤沢市と連携して行っている「長後地区乗合タクシー」の実証運行を4月以降も継続して実施します(6か月程度)。
- ※3月19日(土)～31日(木)は運休止、4月1日(金)から再開します。
- 準備委員会と市では、運行エリアにお住まいの方を対象に行ったアンケート(令和3年12月から令和4年1月にかけて市が実施)の結果や利用状況をもとに、4月からの運行ダイヤと、6月以降の運行ルート等の見直しを行っています。
- 本格運行の実現には、一定の乗客数が欠かせません。ご利用いただいている方は引き続き、まだの方はぜひ一度ご利用ください。
- 準備委員会にご協力いただける方は、長後市民センター(地域づくり担当)までご連絡ください。

▶交通手段支援事業部会



実証運行の2月末までの利用状況(令和3年10月1日～)

	平均利用者数	目標利用者数	総利用者数
東ルート	9.42人/日	—	904人
西ルート	4.72人/日	—	453人
合計	14.14人/日	45人/日	1,357人

地域に根差した健康づくり!

地域に根ざした健康づくりを普及させるため、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を実施しています。

令和3年度は、(一財)同友会と連携して、自分の体力レベルを知るための体力テストやコロナ禍での身体機能の変化の特徴を知り、機能低下を予防するための運動をテーマにした健康講座を、こぶし荘と長後市民センターの2会場で開催しました。令和4年度も実施する予定です。

▶健康づくり普及事業



地域の課題に関するアンケートを行いました

令和3年12月から令和4年1月にかけて、自治会長や地域団体の代表者の皆様を対象に、日ごとの活動の中で感じられている「地域の課題」についてお聞きしました。

「地域活動(担い手不足)」「まちづくり(道路整備等)」「交通安全」に関するご意見が多く寄せられたほか、「防災」「環境」「子育て」「福祉」「防犯」に関することなど様々な分野にわたりご意見をいただきました。令和4年度以降への取組の検討材料とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

地域人材発掘のための機関紙「つなぐ」を発行

地域の皆様へのボランティア団体の紹介と、多くの方にボランティアに興味を持ってもらい、活動への参加をお願いするための、機関紙「つなぐ」を令和4年1月に発行しました。

人材を求めている団体、ボランティアに関心のある方はぜひ、長後市民センター（地域づくり担当）までご連絡ください。

機関紙「つなぐ」への掲載団体募集中!!

▶地域人材発掘・育成事業部会



「知っていますか？私たちのまちの災害リスク」

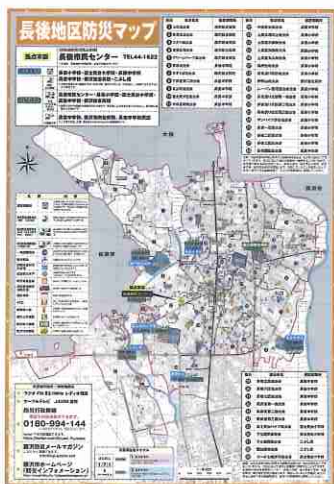
令和3年11月14日(日)に、長後市民センターにおいて元藤沢市職員で自治体学会事務局長の杉淵武氏を講師にお迎えし、長後地区の防災をテーマにした時事問題講演会「知っていますか？私たちのまちの災害リスク」を開催しました。

オンラインを含め40名の方が受講され、全世界に配布されている「ふじさわ防災ナビ」や「長後地区防災マップ」の活用方法などに、耳を傾けていらっしゃいました。

▶時事問題講演会



(令和3年6月発行)



(令和3年3月発行)

歴史解説板・まち歩き用案内板を設置

歴史解説板

歴史散策の会の協力を得て、かつて存在した「千束橋」付近に歴史解説板を設置しました。

「千束橋」は長後地区内での大山道の起点であったほか、地域で生産された絹糸などの輸送にとって重要な場所でした。*「千束橋」の所在地 高倉1555番付近

まち歩き用案内板

長後地区のふるさと観光マップ「長後めぐり」をベースにした、まち歩き用案内板を長後市民センター正面入り口付近に設置しました。まちの魅力の再発見につながれば幸いです。

▶観光・歴史資源開拓事業部会



下土棚遊水地の整備状況について

令和3年12月7日の定例会において、神奈川県藤沢土木事務所河川砂防第一課と藤沢市公園課から、下土棚遊水地の整備状況について説明を受けました。主な内容は次のとおりです。

- ①令和2年9月に4つの池ABCDすべての護岸が完成し、40万 m^3 の貯水が可能となり、洪水調節機能の役目を果たしている。
- ②引き続き、池内の仮置土砂の搬出等により、計画貯留量46万 m^3 を目指していく。なお、令和3年度中にA池の残土搬出は完了する見込み。
- ③今後は、県と市が連携し、上部利用施設（公園・スポーツ施設等）の整備を進め、早期の供用開始を目指していく。

＜お問い合わせ先＞

▶神奈川県藤沢土木事務所・河川砂防第一課

0466-26-2111(代表) 内線453

▶藤沢市・公園課 0466-25-1111(代表) 内線4341

下土棚遊水地整備状況

令和2年9月にA・B・C・D池すべての護岸が完成



現在の貯留量 約40万 m^3
計画総貯留量 約46万 m^3

編集 後記

新型コロナウイルス感染症から2年、感染者数も減少し郷土づくり推進会議や他団体もそろそろ活動をとっていた所に今度は、オミクロン株と言う新しい感染症が猛威を振るい凄く速く大流行し、新規感染者が毎日新記録と言う報道を目にする。

活動は厳しい時ではあるが、郷土づくり推進会議も地域に密着した活動になる事を期待し、またこんな時だからこそ活発に進めて行くことが大事だと思います。(伊藤義雄)